

WOLFGANG ISCHINGER

▪ Chairman of the Munich Security Conference

LONDON
SPEAKER
BUREAU



ヴォルフガング・イシinger大使は2008年からミュンヘン安全保障会議の議長を務め、ハーティスクール国際安全保障政策センターの所長を務めています。彼はまた、2008年3月から2014年12月まで、アリアンツSEの世界統治責任者でした。

Ischingerはボンとジュネーブの大学で法律を学び、1972年に法の学位を取得しました。彼はドイツの学术交流サービスDAADからの助成金で法と外交のフレッチャースクールで国際法、外国経済関係と歴史を研究し続けましたケンブリッジのロースクール/アメリカ合衆国。

Topics

- Business
- Government
- Management
- Politics

1973 - 75年から、彼はニューヨークの国連事務総長の職員を務めました。1975年に、彼はドイツ連邦共和国の外務省に加わりました。彼は、連邦外務省の政策立案スタッフとワシントンDCのドイツ大使館で、セキュリティポリシーの問題に焦点を当てていました。1982年から90年にかけて、ヴォルフガング・イシingerは1985年に連邦外務大臣の職員を務め、1987年には外務大臣官房長官となり、1987年には国務長官と首相に就任しました。のドイツ大使館の政治セクションの紹介。1993年に、彼は連邦外務省の政策計画スタッフのディレクターに任命されました。

1995年に、Ischingerは連邦外務省の政治局長になりました。1995年のオハイオ州デイトンでのボスニア平和交渉、1996/1997年のNATO-ロシア創設法に関する交渉、および1998年のコソボ危機の間、政治代表としてドイツ代表団の長を務めました。外務省の国務長官（副外務大臣）に任命され、国連やNATOを含む多数の国際的およびヨーロッパのフォーラムでドイツ政府を代表した。1999年に、彼はドイツ首相とロシア大統領が共同で設立したドイツ - ロシア戦略ワーキンググループのメンバーに指名されました。

2006 - 08年の間、Ischingerはドイツ連邦共和国のロンドン大使でした。この任務の前は、2001年から06年まで、そして1998年から2001年までは、外務大臣を務めていました。2007年に、彼はコソボの未来に関するトロイカ交渉で欧州連合を代表しました。